



令和 8 年度、茨木支援学校での 2 年目の春を迎えました、
准校長の紙野 泰彦です。

昨年度、私は「修行を積んで故郷に戻ってきた」という決意のもと、本校の伝統と、地域や保護者の皆様からの期待の大きさを改めて肌で感じた一年を過ごしました。この間、私は「急がば回れ」の精神を大切に、現場の教職員の声、そして何より児童生徒や保護者の皆様の思いにじっくりと耳を傾けることに努めてまいりました。

本年度は、新たに木下 美香子校長を迎え、新体制のもとでさらなる一步を踏み出します。木下校長が掲げる「すべての人が将来に希望をもち、自立と社会参加をめざす学校」というビジョンのもと、私は准校長として、その基盤となる「安全・安心」な環境づくりに全力を尽くします。昨年度までの課題を真摯に受け止め、今年度は特に「教職員の高い人権意識」と「チームワーク」の強化に注力いたします。児童生徒一人ひとりが尊重され、自己肯定感を育める環境を、決して揺らぐことのない毅然とした態度で守り抜く決意です。

同時に、私は「Challenge for the Better (より良きをめざした挑戦)」を旗印に、変革への歩みも止めません。校長が進める「連続性のある学び」を支えるため、GIGA スクール構想の推進による ICT 活用、そして小学部から高等部まで一貫した「キャリア教育」を深化させ、将来のライフキャリアの向上を見据えた専門性の高い指導を追求してまいります。これらは、教職員一人ひとりがプロとしての専門性を磨き続けることで初めて成し遂げられるものです。

判断の軸は常に「児童・生徒・保護者の幸せ」に置きます。昨年度の学校教育自己診断でいただいた貴重なご意見を糧に、保護者の皆様が安心して大切なお子様を託せる学校、そして地域における支援教育のセンターとしての役割を果たすべく、丁寧な調整と対話を重ねてまいります。

学校は一つの「チーム」です。校長と共に、教職員が互いを尊重し、支え合える風通しの良い職場を築くことが、子どもたちへの質の高い教育へとつながると確信しています。私自身も、皆様の声に真摯に耳を傾け、共に考え、行動する准校長であり続けます。本年度も、本校の教育活動への変わらぬご理解とご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

大阪府立茨木支援学校
准校長 紙野 泰彦